

7. バイ湖の伝説

フィリピンの自然にできた59の湖のうち、最も大きいのは、バイ湖です。この湖は、わたしたちの国の英雄ホセ・リサル博士と他の文学的才能のある人たちの靈感の源であり、また近くに住む漁をしている人たちの生計の源でもあります。ひとつのそのような共同体がバイ湖なのです。

昔々、バイ湖の南の岸に、自然に恵まれ祝福された地域がありました。勤勉な人々は、米、とうもろこし、さとうきび、バナナなどを植えて、平和で充実した生活を送っていました。

この広大で平和な土地の王は、ガット・パンギルで、彼は褐色の肌と、戦争において強く勇気をもっていること、臣下に対して親切で父性的支配者であることを誇りにしていました。彼には三人の美しく愛らしい娘がいて、人々に大変親切でした。長女はバシリサ、次女はアドリアナ、三女はエスターでした。ガット・パンギルとともに、三人の王女はキリスト教の洗礼を受けました。彼らの名づけ親は、マリア・マキリンでした。

三人の王女の名前の頭文字から、この土地はバエ(BAE)と呼ばれていました。Bはバシリサ、Aは、アドリアナ、Eはエスターです。ガット・パンギルは、臣下の助けによって、最初の教会を起し、その領域全体のお祝いをして、祝宴や踊りや歌を催しました。その時から、人々は新しい聖職者から進んで洗礼を受けて、多神教の道から、キリストの道にかわりました。

ガット・パンギルが軽い病気が原因で死ぬと、彼の統治地域全体が闇に覆われました。彼が人々に大変愛されていたからです。そして、町では一時間ごとに悲しみの鐘が鳴りました。みんなの目は涙で濡れ、彼の遺骸は墓に入れられて、それに続いて、印象的な儀式が司祭によって行われました。

ガット・パンギルの死にもかかわらず、繁栄はますます続いて、彼らの生活は、自然の災害に邪魔されることもなく、人々はより大きな愛情と献身をバシリサ、アドリアナ、そしてエスターに注いで盛り立て、今や王国の共同統治者になりました。このことは、聖職者を大変不快にさせ、彼は彼女たちの権力と人気を奪いたくなりました。妬みが彼の心に満ち、彼女たちに屈辱を味あわせる筋書きを考えました。

妬みは、はけ口がなく彼の心に悪化してゆき、

7. バイ湖の伝説

爆発して表に出るのは、遅かれ早かれ時間の問題でした。これは、まさにその聖職者に起こったことです。彼の理性は敵意で悪くなっていて、彼は全ての日曜日と祝日には、ミサに出席し、そうしないと除名する、という厳しい命令を住民に対して発令しました。だれも免除されることなく、たとえその地の支配者であってもです。

日曜日の朝が来ました。教会はすぐに聖職者の命令に従順に従う人々でいっぱいになりました。そして彼らは静かに祈りの言葉を語っていました。突然、三人の王女のしもべが到着して、三人の王女がまだ服を着る途中なので、ミサを始めるのを少し遅らしてほしい、と頼みました。

しもべの話を聴いて、その聖職者は激怒しはじめ、三人の姉妹についての軽蔑と侮蔑の言葉を投げつけました。しもべは、怒りに燃えて、すぐに出て行き、女主人たちにその出来事を報告しました。

女王たちは、聖職者の行ったことを聞いて、深く傷つきました。長女のバシリサは、領域の高位の王室臣下を召集し、それまでに、事件のことや怒りが燃えたことなどを既に聞きました。彼らの指導者ベストレは、嘆願して「その聖職者に罰を与えてください、わたしたちの女王よ。そして実行されますように。だれにもあなたを侮辱したり、わたしたちの自由を踏みにじらせませんように！」

すべての臣下はそれに賛成しました。そして、女王たちの代弁者のバシリサは、ベストレに命令を与えました。「わたしはあなたに、その聖職者を逮捕し、終日刑務所に収容することを命じます。」

ふたりの大男を連れて、ベストレは教会の修道院へ行き、そこで聖職者を逮捕しました。次に、彼はその聖職者を大きな檻に投げ入れました。特に彼を公衆の前にさらして、冷笑させるためです。通行人が彼をジロジロ見ました。子どもたちは彼を笑い、指差しました。群衆が彼を嘲るために、檻の周りに集まってきました。

その司祭は頭を垂れました。彼の威厳はつぶされました。彼の屈辱は決定的になりました。彼は静かに泣いて、静かな苦しみの中で、歯を食いしばっていました。

既に暗くなって司祭はついに釈放されました。激しい憎悪を心に抱いて、彼は重い足取りで暗い修道院へ帰って行きました。そこは、侍者や召使

フィリピン 神話と伝説

私たちは恐ろしくて、逃げ出していました。全くの孤独な中で、彼は祭壇に近づき、祈るために十字架の前に跪きました。彼は祈って、涙はやつれた彼の頬を流れました。真夜中に、彼は起き上がり、冷たい夜に出てゆき、コオロギの歌は、彼をあざけているように見えました。満月と無数の星は、教会と彼の人格そして彼の着ているキャソックを侮蔑していることを嘆くように、輝きを失っているように見えました。

数人の漁師が獲物を持って家に帰る途中、湖の近くにいる司祭を見つけました。彼らは昼間の出来事を知らず、彼に敬意を払って、彼がどこに行っているのか聞きました。彼の声はしわがれていました。

「湖の中へ連れて行ってくれ！」と彼は、感極まって息詰まって答えました。「わたしは祈る」

「わかりました。」男たちの一人が言いました。「どうぞ、舟に足を踏み入れてください。わたしたちは疲れていますが、あなたのご意思を実行します。」

その聖職者は彼らに感謝し、漕ぎ手たちはカヌーに向かい、歌いながら岸から漕ぎ出した。

月の光によって、彼らはその聖職者の目に涙を見ました。司祭はやわらかく祈っていました。彼は小さな黒い本を開き、漕ぎ手たちにはわからない言葉で、呪文を読み始めました。そして、彼は立ち上がり、漕ぎ手にもっと早く漕ぐように、そして彼を見ないように命じました。一瞬のうちに、彼はサンダルのひとつを脱ぎ、それを揺れる湖の水に投げ込みました。

瞬く間に、恐ろしい音がカヌーの背後に起こりました。漕ぎ手は、夜の静けさを突如ぶち壊すような突進する水の叫びに怯えて、櫂を握る手が縮み上がりました。稲妻が空を引き裂き、雷が荒れ狂う水を揺らしました。すると巨大な高波が小さな舟を打ち、聖職者と漕ぎ手を怒りの海へ振り落としました。

朝が来ると空は晴れて、ふたりの漕ぎ手は無事に発見されました。しかし、司祭は死んでいました。大変有効な彼の神秘的な力が、彼を滅ぼしてしまっていました。教会は怒りの水で一掃されていました。

今日、バイの現在の町の海岸の西に、老人たちが誓って言うには、夏の日々の透き通った水の下に、今でも教会の廃墟の祭壇が、陶器や磁器の破片が

そのあたりに散らばっているのと一緒に、見えるということです。ほかの言い伝えでは、湖の中に、古代の家の輪郭が見分けられる、また他の人がいまだに言うには、時々、彼らの舟が水の下での神秘的な物体に当たる、というものです。

練習問題

新しい言葉の学び

B群の文章が意味している単語をA群から選びなさい。綴りだけ書きなさい。

A

1. bounties
2. industrious
3. courageous
4. realm
5. curate
6. remain
7. impressive
8. calamity
9. resented
10. coveted
11. excommunication
12. approbation
13. benefactor
14. turbulent
15. potency
16. submerged

B

- a. 助けを与える人
- b. 司祭
- c. 勇者
- d. 人の死んだ体
- e. 祝福
- f. 王国
- g. 台風のような災害
- h. 不満を表す
- i. 苦しい仕事
- j. 欲する
- k. 賛成
- l. 力
- m. 教会員から追放
- n. 心または感情に大きな影響を及ぼす
- o. 水の下に置かれた
- p. 無秩序な
- q. 遠い
- r. 笑い

重要な詳細を思い出す

次の問いに短く答えなさい

1. ガット・パンギルが死ぬと、王国の支配者としての役割をだれがとりましたか？
2. 司祭のことで、だれが深く憤慨しましたか？
3. 司祭のどんな行動が、この話で混乱を巻き起こしましたか？
4. 湖で司祭は何をしましたか？何が彼に起こりましたか？
5. お話の最後に、3人の姉妹に何が起こったか書かれていましたか？

明確化と発展の評価

1. この話は、司祭が三人の王女に対する人々の愛情と忠誠をむやみに欲しがったことが語られています。むやみに欲しがることはいいことですか、悪いことですか？あなたの答の根拠を示しなさい。

フィリピン 神話と伝説

2. この話から、道徳的に学ぶことは何ですか？
3. あなたは、この話のような出来事が、今でも起こると思いますか？ あなたの答を説明しなさい。